



● **ホット
ニュース** 輝くOB・OG
第8弾

● **特集** おもしろ研究・先生XVIII

- 気になるNEWS
- スポット/クラブ・サークル
- 本の紹介
- 表彰
- お知らせ

● **NEW
Series** 健康コラム



三重大学ホームページ
からアイコンをクリック!



「@MieUniversity」
で検索!



YouTube



「mieuniversityweb」
と検索!

これまでに三重大学という学舎で育った卒業生は約79,721名、社会の様々な分野で活躍中です。



お忙しい中、取材にご協力いただきありがとうございました。

★公務員として地域医療を事務から支える



ゼミに自主ゼミに留学に、全力の学生時代

大学の入学式は、高校時代の様々な失敗経験の悔しさを胸に迎えました。しかし、すぐに恩師である野崎哲哉先生に出会い、ゼミ(金融論)や自主ゼミ*の仲間と共に学ぶ中で、皆で知識や情報を集め、発表や議論を行うことの楽しさにハマっていきました。当時の仲間は今でも大切にしています。

就活終了後には卒業論文執筆のため、米国留学を経験しました。米国では出会う人々が口を揃えて地域の誇りを語るのですが、私はまだまだ日本や地元のことを知らないのだと気が付き、相対的な視点を持つようになりました。留学中はなかなか馴染めなかったり、大量の課題を抱えたりと苦労した部分も多いですが、それらを突破することで主体的な行動力が身についたと思います。

*複数の先生の指導の下、社会問題から宇宙や恐竜についてなど幅広いテーマについて発表や議論を行うゼミのこと



県立一志病院前にて(三重県津市)

三重県庁(三重県立一志病院 運営調整部 総務課)

File. 34

川北 佳雅

Kawagita, Yoshimasa

三重県松阪市生まれ。2008年人文学部社会科学科(現・法律経済学科)を卒業。同年、パナソニックエコシステムズ株式会社・パナソニック電工(現・パナソニック)本社勤務を経て、2013年三重県庁へ入庁。雇用経済部、県土整備部等を経て、2018年から現職。在職中(2019年)、放送大学大学院にて修士号取得。

MESSAGE

★学生へのメッセージ★
社会に出ると「心の余裕」が大切になります。学生のうちに、興味の幅を広げ、色々なジャンルの本を読むことをおすすめします。



プライベートでは三重発祥の「ピンポン野球」の普及を三重大の後輩と進めているんだって!

三重県職員として一志病院へ

最初に就職したのは愛知県民の民間企業でした。東京勤務もしましたが、外に出ることで三重の魅力や再認識したこと、震災をきっかけに地元に戻って県全体に携われる仕事がしたいと思ったことから三重県庁に入庁しました。現在配属されている県立一志病院は、全国の医療過疎解決のモデルになることを目指しています。一志病院は、なくてはならない地域のセーフティネットです。「なぜ儲からない地域医療をやり続ける必要があるのか」などと、一面的な見方で思考停止せず、民間企業的なノウハウを活用しながら、行政ならではのサービスを人々に提供し、地域社会を支えているというやりがいを実感できているのは、学生時代に経済学や社会問題を沢山学んだお陰と言えるでしょう。

経験はすべて役に立つ!

一志病院の職員は、医療教育や研究にも高い志を持って取り組んでいます。私も働きながら修士号を取得したので、今後は研究面でも病院に貢献したいと考えていて、学生時代に高めた知的好奇心が活かされていると感じます。いろいろな物事に興味を持ち、課題を見つけ、仮説を立て、解決に向けて皆の協力を得るという仕事のやり方にも、ゼミや留学の経験が影響を与えています。民間企業に勤めた経験が生きる場面も少なくありません。自分がしてきた経験は、すべてどこかで役に立ちます。三重県庁にもいろいろな経歴の職員がいますから、「この道しかない」と決めつけてしまうのではなく、柔軟に物事を捉える力を学生のみならず自分自身にも身につけてほしいと思います。

★美術の楽しさ、絵を描くことを好きになってもらうために

File. 35



美術をたくさん学んだ学生時代

私は教育学部の美術教育コースに在籍していたのですが、実習や子どもたちと関わる機会がたくさんあり、絵を描くことを教えるチャンスに恵まれていました。学生時代に学んだデッサンなどの実技や美術史の知識技能は今とても役に立っています。

またデザインを専攻しパソコンでポスターやパッケージを作りました。そこで色の配置について理論的に学べたことは油絵を描く際にも役に立ちました。卒業制作では、横6m、縦2mもあるとても大きな油絵に取り組みました。自分の身長よりも高く1番上を描くときは脚立に乗って描いたことを覚えています。はじめは白いキャンバスにとっても迫力があってどのように描こうか迷いました。その作品は今でも取り組んだ中で最も大きい作品となりました。

三重県立名張高等学校 教諭(美術)

山口 智優

Yamaguchi, Chihiro

三重県名張市生まれ。2013年三重大学教育学部卒業。三重県内の高等学校教諭を経て、2017年より現職。



三重県立名張高等学校 美術室にて(三重県名張市)

好きな言葉は“生きているだけで100点満点”

教育実習で行き詰った時に、みんながこの言葉を唱えて頑張っていたんだって!



美術は日常の中にあるもの

絵にあまり興味がない生徒も多いので、そのような生徒に少しでも絵を好きになってもらえるよう工夫しながら取り組んでいます。生徒の生活とかけ離れている作品ばかり見せると自分とは程遠い世界だと感じてしまうので、生活に身近なスプーンやフォークを木で彫って作るなど生活に少しでも関わるところから美術に関われたら良いと思っています。美術は特別なものではなく日常にあることに気づき、美術に対する意識が少しでも変わると毎日により楽しくなることを伝えたくて毎日授業をしています。

絵を描くことの魅力

生徒は色々なアイデアをもっていたり私自身が思いつかない発想の絵を描いたりするので、その絵を見たり、生徒と一緒に絵が描けることがとても楽しくて面白いです。絵を描くことは仕事の一部なのですが、仕事という風には意識はしていなくて、自分の好きなことを仕事にしているという感じです。

私自身は絵を描くことがもちろん好きです。人や風景の絵を描く時に、描くものは目に見えるものを描くけれど、目に見えない思いや気持ちも現れるように描きたいと思っています。特に人を描くことが好きで、私がおの人に対して思っているイメージや思いが絵に表れたらいいなと思いながら描いています。

MESSAGE
★学生へのメッセージ★
私自身学生時代に様々な経験をすることで、それが今に繋がりに役に立っていることが多いので、いろいろなことにチャレンジしてほしいと思います。

壁にぶち当たっても人生やってみないとわからない

File. 36

国立感染症研究所感染症疫学センター 第一室 主任研究官



学生時代は基礎医学に興味津々

生まれも育ちも三重県で、医師である父親も三重大学の卒業生だったので、大学といえば三重大学という家庭環境でした。高校生の時、数学・物理が苦手だったこともあり生物を選択し勉強しましたが、特に免疫学に興味を持ち、この分野の研究をしたいと漠然と思っていました。高校2年の夏に、医学系の学会に連れて行ってもらったことがきっかけで医学の道へ進むことを決め、数学の壁にぶち当たっていましたが何とか克服し、入試制度が分離分割方式*になったことも幸いし、無事三重大学医学部への入学を果たしました。

基礎医学に興味があったこともあり、学生時代は病理学や生体防御医学などの基礎医学系の研究室に入りびたりで、基礎医学系の先生方に、特に保富康宏先生には厳しく指導していただきながらもかわいがっていただきました。

感染症対応に興味のある人は、ぜひ連絡をください!



母校の三重大学医学部にて (三重県津市)

神谷元
Kamiya, Hajime

三重県熊野市生まれ。1999年3月三重大学医学部卒業、聖路加国際病院小児科での研修の後、海外留学を経て2008年8月国立感染症研究所に採用、2014年8月から現職。

MESSAGE

★学生へのメッセージ★
総合大学で各学部が一つのキャンパスにあることを生かしていろいろな人と出会ってほしい。5年後10年後を見据えて三重大学でしかできないことを見つけてほしいです。

海外留学と今の仕事との出会い

大学卒業後は、東京の病院の小児科で研修医として勤務しました。小児科では悪性腫瘍などの重篤な病気を中心に治療していました。医学の進歩で、病気は治るのですが、免疫力の低下により、感染症、特にワクチンで予防できる水ぼうそうやはしかにかかってしまい重篤な状況になる患者さんを何人も経験しました。研修の4年が終わったところで、アメリカではワクチンを上手に活用し、感染症の流行を抑えている、という話を聞き、University of California San Diego (UCSD)へ2年間留学しました。父もワクチンの研究をしていたので、アメリカの現場を見るために大学に所属しながら保健所に派遣してもらいました。

アメリカでは、地方の保健所でも感染症に関するデータを収集してそのデータに基づいて予防接種政策を決めていました。アメリカと日本におけるワクチンの使い方の違いを目の当たりにし、その時に疫学という分野の重要性を知り、アトランタにあるEmory University Rollins School of Public Healthの公衆衛生大学院にて疫学を学びました。

日本でこれを実践・研究していくには国立感染研究所であると思いつきました。しかし、働き始めると、教科書で学んだことと実践においてはギャップがあると感じ、公衆衛生、特にアウトブレイク(患者の集団発生)などで対応ができる指導者になるための実践的スキルを身につけるためにCDC(アメリカ疾病対策予防センター)でEIS(Epidemic Intelligence Service)という2年間の研修を受けるため自ら志願し、再度海外へ留学しました。日本人では先駆けだと自負しています(笑)。

感染症の予防のために

現在の仕事は、二度の留学経験を活かし、主に感染症の発生状況等のデータを全国から収集し、整理・分析することにより感染症対策や予防接種政策への提言・提案をすることと、はしかなどのアウトブレイクに対して事例が発生した原因を追究し、次に同じことが発生しないように予防策を関係者と一緒を考え、国の機関として情報を蓄積し、医療者、行政関係者の方々や情報を共有することなどです。その他、国際協力としてエボラウイルス病のアウトブレイクが発生した際にはアウトブレイク対応実践のためにアフリカへ行ったり、またそのような対応ができる人材育成を行ったりしています。

※個別試験(第2次試験)で、前期日程と後期日程に分離し、募集人員を分割する方式のこと

専門看護師として医療と看護の質向上にトライ!

File. 37

奈良県立医科大学附属病院 看護実践・キャリア支援センター 急性・重症患者看護専門看護師 特定看護師(7区分16行為) KCCC (Kansai Critical Care Community) プロジェクトリーダー



看護師としてのやりがい

看護学科を受験する際、他学部の学生とも交流が持てることに魅力を感じて総合大学である三重大学を受験しました。学生時代は医学系ラグビー部に所属しており、チーム医療が求められる医療現場においてチーム一丸となって戦うラグビー部での経験が活かしています。

看護師としてやりがいを感じるときは、患者さんやご家族に感謝される時です。その一方で、「看護師の役割ってなんだろう?」と疑問を持ち、自分の中で答えが見つからない時期がありました。そんな時、看護系大学院博士課程を修了した先輩看護師と出会い、看護学という学問に深みを感じたことで、臨床実践と研究を学ぶために大学院進学を決意しました。



ラグビー部では、東海医歯薬大会で優勝したんだ!

「相手のことに関心を寄せる」という看護理念を大切にしているよ



奈良県立医科大学附属病院にて (奈良県橿原市)

辻本雄大
Tsujimoto, Takahiro

奈良県生まれ。2005年三重大学医学部看護学科卒業。三重病院、国立循環器病研究センター、大阪府立大学看護学研究科博士前期課程を経て2011年から現職。

MESSAGE

★学生へのメッセージ★
自分を客観視し、何をしている時が楽しいのか、何が好きなのかを知ることが、働くうえでも生活のうえでも大切になります。その気持ちを少しでも大きくしてください。

その人らしく生きぬくことを支援する

大学院修了後、専門看護師^{※1}の認定を取得しました。医療現場を客観視し、改善すべきことがあれば解決に向かわせることが専門看護師には求められます。今年度から、院内外の看護師を対象にした特定行為^{※2}研修の運営を担当しています。特定行為は大学病院などの高度医療だけでなく、地域医療を支える制度として期待されています。その一方で、まだ新しい制度のため、研修を修了した看護師がどのように活躍するのか、そして、自分自身もどのような形で活躍できるかを模索している段階です。そのため、現場を離れた今も毎朝カンファレンス^{※3}に参加し、課題の抽出と現場感覚を失わないように心がけています。また、院内だけでなく、他の医療機関や他分野の方々との相互交流を通じて学びを深めていくコミュニティ(KCCC)^{※4}を立ち上げ、より良い医療支援について様々なプロジェクトを行っています。今後は、患者さんやご家族にとってより良い医療を自分で選択し、その人らしく生きぬくことができるように特定行為の活用や、療養環境を改善していけるよう院内外の活動を頑張ります。

ものは考えようのポジティブ思考への転換

もともとネガティブ思考なので、「ものは考えよう」と、ポジティブ思考に転換することを心がけています。大きな障害を抱えても、それを脅威と捉えるか、挑戦と捉えるかどうかで、その後の人生は大きく変わってきます。また、何か行き詰った時、「What(何が問題か?)・Why(それはなぜか?)・How(どうする?)」といった問題解決の思考の枠組みを用いて、ノートにまとめています。さらに、このノートに思いついたアイデアをメモして、その実現方法を日々考えることにも役立っています。今では、ノートは15冊目になりました。

※1:「水準の高い看護を効率よく行うための技術と知識を深め、卓越した看護を実践できると認められた看護師」に対し、日本看護協会が認定するものです。急性・重症患者看護を含む13の認定分野があります。
※2:医師が作成した手順書(指示が記載された文書)のなかで、研修を修了していれば医師の判断を待たずに看護師の判断で行うことのできる診療の補助のことです。21区分38行為が規定されています。
※3:患者さんの最良の医療支援方法について、医師・看護師をはじめとする医療スタッフで話し合う会議です。
※4:[URL]http://kansai-ccc.jp/

★医療を支える三重大発ベンチャー企業

File. 38



新しい医工連携の形を創造

医学系研究科博士課程に在籍中に、何か産学連携の仕組みを作りたいという思いがありました。当時はまだ医工連携での産学連携はうまくいかないケースも多い時代でしたが、大学のシーズ(技術や人材、アイデアなど)を事業に活かしていける開発ができないかと考え、当時、医学系研究科の大学院生だった川中普晴先生(現 工学研究科准教授)と2人で、医用工学研究所を三重大学内に立ち上げました。

主に大学病院をはじめとする急性期病院に向けて、電子カルテや医事会計、その他様々な病院内のシステムのデータを一同に集め分析する医療データウェアハウスシステムを開発し販売しています。経年での比較や、他病院との比較を行うことで、病院の経営改善や研究・診療実績の活用、病院業務の効率化を図ることができるシステムです。今後、個々の病院が患者データを別々に管理する時代から、患者個人に健康情報を紐づけるパーソナルヘルスレコードや情報銀行が進む時代となる中で、病院の経営を支えるだけでなく、将来的には医療データの側面から病院や地域の医療を支えるインフラになりたいと思っています。

主に大学病院をはじめとする急性期病院に向けて、電子カルテや医事会計、その他様々な病院内のシステムのデータを一同に集め分析する医療データウェアハウスシステムを開発し販売しています。経年での比較や、他病院との比較を行うことで、病院の経営改善や研究・診療実績の活用、病院業務の効率化を図ることができるシステムです。今後、個々の病院が患者データを別々に管理する時代から、患者個人に健康情報を紐づけるパーソナルヘルスレコードや情報銀行が進む時代となる中で、病院の経営を支えるだけでなく、将来的には医療データの側面から病院や地域の医療を支えるインフラになりたいと思っています。

チューバ演奏と研究に没頭した学生時代

学生時代は三重大学管弦楽団でチューバを演奏していました。卒業後もOBとして管弦楽団の演奏会に出演しています。チューバは非常に大きな楽器で肺活量も必要になるのですが、以前肺活量を測定したら成人男性平均の約1.5倍の6.5リットルありました(笑)

工学部の研究室では、煙感知器の波形分析を行っていました。感知した煙の濃度を分析し、火事の煙かどうかを類推するという研究です。3年生からの編入ということもあり、三重大学での楽しい時間は、楽団でのチューバ演奏と研究であっという間に過ぎていきました。

能化を自覚し会社を導く

仏教の言葉で能化と所化という言葉があります。能化は人を導き指導する立場、所化は教えられる立場のことを示します。社長という立場である以上、能化であるという自覚を持ち、能化として恥ずかしくないように日々勉強し、行動に気をつけています。私の意思決定は、会社の意思決定になりますので慎重に行います。また、意思決定をするにあたっては、私たちでないとできないことは何なのか、私たちだからやれることは何なのかを常に考えています。

株式会社医用工学研究所
代表取締役

北岡
義国
Kitaoka, Yoshikuni

石川県生まれ。石川高専卒業後、三重大学工学部電気電子工学科に編入し、1997年卒業。民間企業を経て、2004年3月三重大学医学系研究科修士課程修了、博士課程在籍時の2004年12月に医用工学研究所を設立し、現在に至る。



医用工学研究所前にて(三重県津市)

今も休日にはチューバの演奏を
しているよ!

車でドライブ
するのも好き
なんだって!

MESSAGE
学生へのメッセージ

新しいことにどんどん
チャレンジし、多くのことを吸収して、
所化から能化に成長してください!
そして、能化として社会に貢献
できるように頑張ってください!

★心と身体の健康を保つために、機能性食品素材の魅力を発信

File. 39



研究室生活で得たもの

学生時代は生物化学研究室(現 分子細胞生物学研究室、生物圏生命科学専攻)での研究室生活にどっぷり浸かっていました。遺伝子の複製について研究していたのですが、研究は

もちろん、一緒に研究する仲間との生活が本当に楽しく、学生生活での一番の思い出です。そのときの教授や先輩、同級生とは今でも連絡を取り合っており、人とのつながりもすごく濃くなったかなと思います。研究室での経験から研究職に就きたいという思いがあったので、研究員の人数が多く、とても自由な発想で研究を行っている研究開発型企業である太陽化学株式会社に入社しました。

食品を用いた栄養治療

入社後13年間は研究員として、「機能性食品素材」を研究開発していました。自分が開発した商品が店頭で並んでいるところを見つけたときはとても嬉しく、商品をたくさん買い込みました。(笑)

研究職では、研究に対する考え方や、データの読み方など、学生時代に学んだことがとても生かされました。その後、2回の育休を経て、現在は営業として働いています。半年前までは、病院や介護施設に向けて、鉄分不足や腸内環境の改善を「薬ではなく機能性食品で行う」という提案を行っていました。現在の部署では、最近の在宅介護や減薬の動きがあるので、より多くの方々に薬だけに頼ったケアではなく、機能性食品を用いた栄養治療により症状を改善していただけるように、一般の方向けに商品をご紹介します。自分たちが開発した商品を、利用者の方がどのように使用しているのか、現場の生の声を聞くことができるので、研究職とはまた違ったやりがいを感じています。

QOL*の向上に向けて

自分が研究開発に携わってきたのが、身体に何らかの良い影響を与える「機能性食品素材」でした。近年、寿命が延びていますが、長生きするだけでなく少しでも健康寿命が延びてほしい、生活の質を上げていきたいという思いがあります。生活の質を上げていくために、良い商品はあるのに、困っている人にはまだまだ認知されていないのが現状なので、良いものを困っている人の手に届くようにしたい、困っている人の生活を良くしたい、より良いものを作り出していきたいという思いで今の仕事に取り組んでいます。

*QOL(Quality of Life)…生活の質

太陽化学株式会社
メディケアグループ 通販チーム 副主任

南
千代子
Minami, Chiyoko

愛知県名古屋生まれ。2002年三重大学生物資源学部卒業、2004年大学院生物資源学研究所修士課程修了。2004年に太陽化学株式会社に入社し現職。



太陽化学株式会社にて(三重県四日市市)

日本の世界遺産を巡るのが好きで、屋久島や知床半島にも行ったんだって!

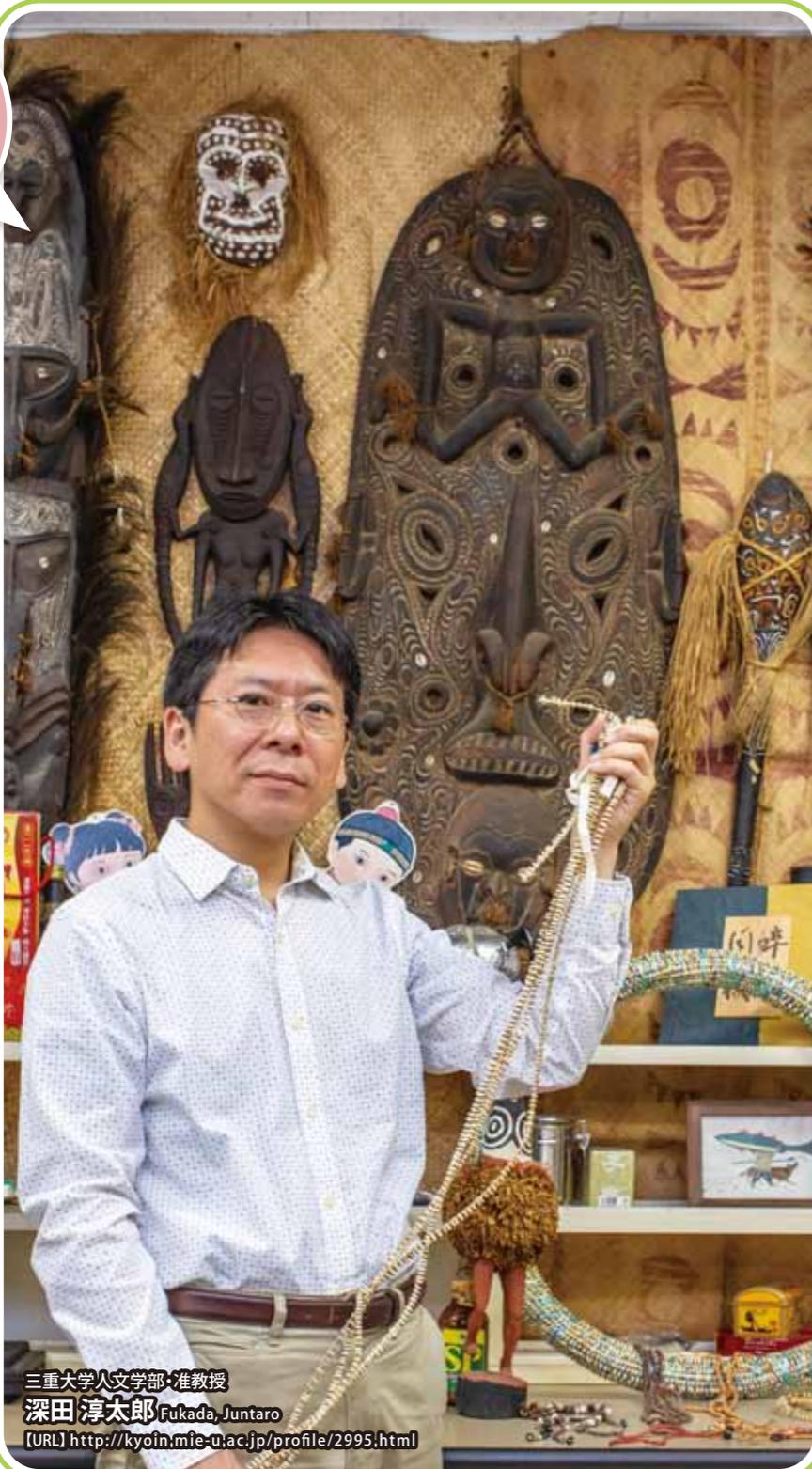
研究員のごときには、研究成果が認められて2度表彰されたんだって!

MESSAGE
学生へのメッセージ

学生時代は、やりたいことがあったりやりたいと思った時にやるべき!また、自分の興味のあること以外でも、チャンスがあれば取り組んでいくと世界が広がります。

特集
おもしろ
研究・先生
XVIII

パプアニューギニアの貝殻貨幣から
お金の未来を考える



三重大学文学部・准教授
深田 淳太郎 Fukada, Juntao
[URL] <http://kyoin.mie-u.ac.jp/profile/2995.html>

社会学第四資料室にて

「^{ばい}貨のフィールドワークへ」

「^{ばい}貨が法定通貨になる」。この新聞記事を読んで私はパプアニューギニアの東ニューブリテン州に向かいました。私の専門は文化人類学です。異文化でのフィールドワークを通して、私たち自身のあたりまえの生活がどのように成り立っているのかを考え直す学問です。私は村に通算2年半住み込み、現地の言葉を学びながら、^{ばい}貨の調査を行いました。



「^{ばい}貨と共にある人々の生活」

タブと呼ばれる^{ばい}貨は、東ニューブリテン州のラバウルに暮らすトーライ人が長年使ってきた貨幣です。結婚する際の結納金や土地の売買、その他さまざまな儀礼で用いられ、また円環状に束ねるとその所有者の威信をあらわす宝物にもなります。まさに伝統的な貨幣なのですが、同時に日常的なモノの売買でも用いられ、先述の新聞記事にあるように近年では政府がお金として公認するまでになっているのです。

「^{ばい}貨が使われ続ける」

間違えないで欲しいのは、^{ばい}貨は彼らが遅れているから「まだ」使われているのではないということです。この想定の後には、経済が発展すれば^{ばい}貨はいずれ消えるという、単純な進化論的図式があります。ですが、実際にはラバウルは19世紀から植民地の中心都市であり、トーライ人は植民地行政府や国家が発行する法定通貨を使いながら、同時に100年以上にわたって^{ばい}貨も使い続けてきたのです。

「宝物になる円環状のタブ」



「異文化から人間社会を考える」

2001年には、オーストラリアのコンサル会社が貝殻貨幣の法定通貨化に向けた調査を実施しています。実は^{ばい}貨は、国家権威によらない独自の価値を生み出し、人々の間の交換を促進するシステムとして、インターネット技術を利用した仮想通貨などと同じく、これからの時代の新しい貨幣のかたちのひとつとして注目されているのです。異文化の伝統文化の独自性や私たちとの違いを見極めながら、同時に私たちとつながる点を見だし、より普遍的な人間社会について考えることが文化人類学の大きな魅力であると言えるでしょう。

貨幣として使われるタブ



タブにはムシロカイという小さな貝が使われているんだ



ムシロカイ

タブをつくるトーライ人



タブ作りを手伝う深田先生

特集／おもしろ研究・先生 XVIII

特集
おもしろ
研究・先生
XVIII

風力発電の制御の研究



三重大学大学院工学研究科・准教授
鎌田 泰成 Kamada, Yasunari
[URL] <http://kyoin.mie-u.ac.jp/profile/1385.html>

三重大学の風車前にて

「風力発電の特徴」

風力発電は、有望な再生可能エネルギーとして注目されています。風力発電は、風からエネルギーを取り出して電力に変換するものです。風のエネルギーは、ロータ*（風車の回転する部分）といわれる部分で取り出されます。風速が2倍になると風車を通過する風のエネルギーは8倍になり、風車を回す力は4倍になります。風は、気温や周りに建物があるかどうかによって常に変動し、風車の受けるエネルギーと力は大きく変動しています。この変動する風からいかに安定して故障なく発電するかは、風車にとって重要です。風車は回転数と羽根の取付角度を適切に制御し、故障なく安定な電力を得ています。

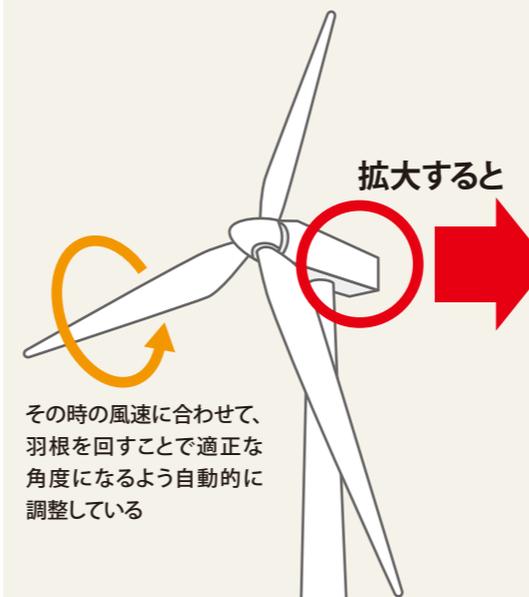
*羽根を3枚まとめてロータと呼ぶ



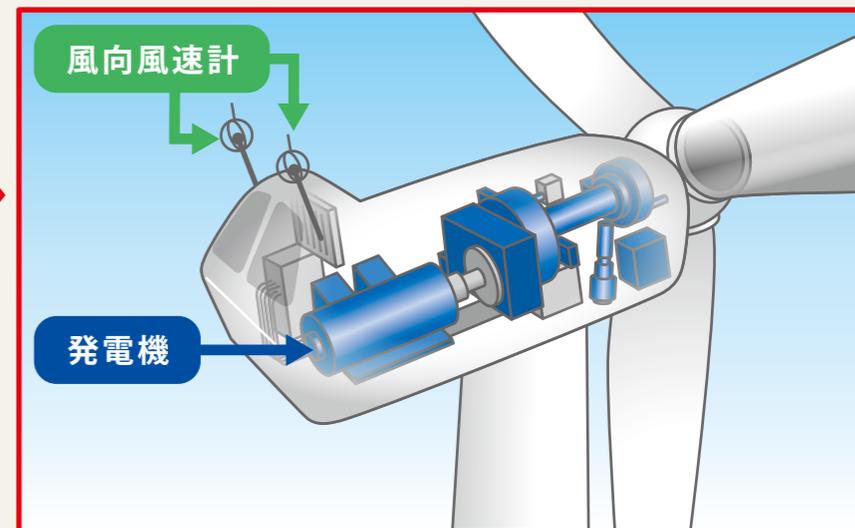
「流入風観測による風車制御」

風車の回転数と羽根の取付角度は、電力や観測された風向風速計に基づき制御されます。風車の出力は、羽根の受けた力で発電機を回して得られるので、少し前の時刻（約0.1秒前）、つまり過去の風で決まります。よって風速が急に変化すると、風車の制御はすばやく対応できず、過剰な電力や外部からの力を受けます。風車に入る少し未来の風がわかっているならば、より高精度に出力を制御でき、過剰な電力や外部からの力を少なくできます。現在、風車に入る前の風を測る装置と組み合わせた風車制御を研究しています。

風車の取付角度の調整



*風向風速計は通常はこの図の位置に設置されているが上の図の風車は研究用風車のため前に設置されている



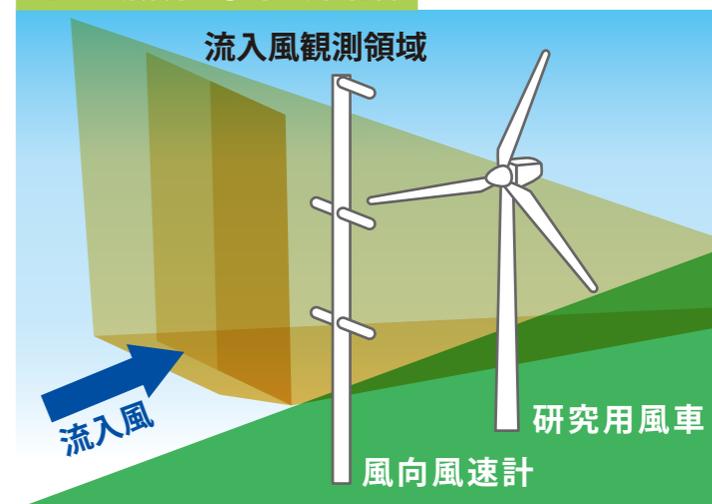
「高精度な風車制御により期待される効果」

高精度な風車制御技術は、風車の外部から受ける力を低減でき、風車出力の安定化などをもたらします。風車は回転面の大きさでエネルギーを得ています。単純に風車を2倍にすると回転面の大きさは4倍になり、風車全体の重さは8倍になるので、発電コストが増加します。外部から受ける力を低減できる制御は、より軽量の設計を可能にし、大型化を可能にします。それらを広大な洋上で運用することで莫大なエネルギーを得られます。風力資源は、地球上の広範囲に存在しているので、国や地域で格差のない公平なエネルギー供給を実現できます。

風力発電は、一定の風速があれば、昼でも夜でも電力を生み出してくれるんだよ！



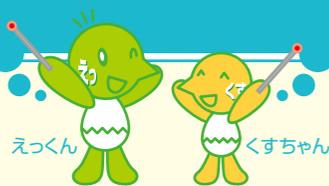
流入風観測による風車制御



特集／おもしろ研究・先生 XVIII

気になるNEWS

ニュース



12月6日

国際交流DAYS

「十二単から知る日本文化の魅力」

国際交流センターと人文学部・地域貢献事業の共催で、国際交流DAYSの一環として、十二単を通して日本文化を学ぶ講座と着装体験会を開催しました。会場の三翠会館の和室には延べ90名の参加者が集まりました。着物着付け教室の協力の下、近代・平安の十二単と男装用の束帯が披露され、十二単と日本文化について解説が行われました。



16日 Café HONOBUONO

(カフェ ほのぼ〜)を開店

三重大学教育学部家政科教育コースの学生22名と三重短期大学食物栄養学専攻の学生による1日限定カフェを開店しました。このイベントは、津市の中心市街地の活性化事業として行っているもので、三重大学の学生が会場の準備、広報、接客を担当し、三重短期大学の学生が調理を担当しました。



1月10日

平成30年度白衣授与式

平成30年度白衣授与式を挙行し、医学部医学科の4年生126名が出席しました。白衣授与式は、医学科4年生が臨床実習を開始するのに先立ち行われ、医師になるという自覚を芽生えさせることを目的に、プロフェッショナリズム・臨床倫理教育の一環として平成19年度より実施しています。



16日 就職ガイダンス

「公務員業務説明会」

キャリア支援センター主催による「公務員業務説明会」を開催し、155名の学生が参加しました。三重県内・県外の官公庁34機関による50秒PRがあり、ゆるキャラの登場や、それぞれ趣向を凝らした紹介が行われました。続いて各ブースに分かれ、それぞれの採用担当者より業務内容の紹介や、採用試験の実施状況などについて説明がありました。



21日 三重創生ファンタジスタ資格認定科目「食品材料学」における志摩の未活用魚の加工品開発発表会

三重大学教育学部家政科教育コースの学生12名が取り組んだ、志摩市の未活用魚の加工品開発についての発表会を行いました。この取り組みは、三重創生ファンタジスタ資格認定科目である「食品材料学」において、教育学部家政科教育講座の教員2名と志摩市との共同研究「健康食材活用調査」の一環として実施しました。



2月1日

三重大学北勢サテライト知的イノベーション研究センター開所式

四日市市の新たな教育拠点コマネテプラザに「三重大学北勢サテライト知的イノベーション研究センター」がオープンしました。この北勢サテライト設置をもって、平成28年度からスタートした「三重大学地域拠点サテライト構想」による4つの地域サテライトがすべて完成しました。



12日 三重大学アカデミックフェア2019

アカデミックフェアは、三重大生の学習成果や研究成果、地域連携や高大連携、支援活動等の実践、課外活動の成果について、学内および学外に対して広く紹介する機会として学生総合支援センターが毎年開催しています。今年は各学部・研究科の代表学生5名による専門性の高い研究や実践の口頭発表やポスター発表を行いました。



13日 クラブ・サークルリーダー研修会

この研修会は、三重大学の公認クラブ・サークルの代表者を対象に、課外活動における安全管理意識やリーダーシップ力を高め、リーダーとしての資質向上を図ることを目的として、今年から開催しました。保健師による大学生の体調管理についての講話やリーダーシップについての特別講演、AED講習などを行いました。



26日 三重大学と太陽化学株式会社との教育研究に係る連携・協力に関する協定調印式

三重大学と太陽化学株式会社は、教育研究の一層の充実と大学院生物資源学研究所の学生の資質向上を図り、相互の研究交流を促進し、もって農林水産業に関する学術及び科学技術の発展に寄与することを目的として、連携・協力に関する協定を締結しました。



3月23日

2018年度三重ジュニアドクター育成塾報告会

三重ジュニアドクター育成塾は、三重大学が実施機関となり、三重県教育委員会や皇學館大学など22の機関と連携しながら、科学技術振興機構 (JST) の支援を受け、小学5、6年生と中学1~3年生を対象とし、2018年度から始めています。受講生は、本年度に行った自由研究や、興味をもった課題について研究した成果をまとめ、わかりやすく報告しました。



27日 29日 オーストラリアで、「Unmasking the Ninja」と題した忍者講座を開催

国際交流基金シドニー日本文化センターと豪州国立大学において、忍者講座を開催し、三重大学教員3名が忍者についての講演・実演を行いました。オーストラリアでは、かつて時代劇『隠密剣士』がテレビで放送されて大ブームとなった影響で、会場には多くの人々が訪れ、講座はとても盛り上がりました。



4月1日

平成31年度三重大学事務系新規採用職員辞令交付式

平成31年度三重大学事務系新規採用職員辞令交付式を挙行了しました。交付式では大高弘士副学長・事務局長から14人の新規採用者へ辞令が手渡されました。新規採用者の皆さんの今後の活躍が期待されます。



10日 19日 平成31年度前期交通安全指導を実施

平成31年度の授業開始に伴い、江戸橋駅から三重大学前の交差点において交通安全指導を実施しました。交通安全指導は毎年度前期と後期の授業が始まる時期に実施しています。授業が始まると同時に江戸橋の架け替え工事に伴う迂回も解消され、通学路も大幅に整備されました。



15日 学内のおしゃれなスポット大募集 第1回 表彰式

三重大学の魅力発信のため、学内にあるおしゃれなスポットや人、物などを募集し、教職員と学生合わせて18名の方から22件の応募がありました。厳正なる審査の結果、6名の応募者が最優秀賞と優秀賞に選ばれました。今回応募いただいた写真は、今後開設予定の三重大学公式インスタグラムや三重大学のホームページ等で紹介していく予定です。



5月11日

2019年度インターンシップ説明会・事前研修会

キャリア支援センター主催による「2019年度インターンシップ説明会・事前研修会」に、インターンシップ参加希望者1,032名が参加しました。三重大学インターンシップ卒業要件化についての説明や、インターンシップのメリットおよび現状、心構え、ビジネスマナーなどについて説明がありました。



15日 留学生のための日本文化体験 ~囲碁入門教室

人文学部国際交流委員会主催の囲碁入門教室を開催し、留学生12名を含む15名が参加しました。このイベントは、留学生が実際に日本文化を体験することによって、日本の文化をより深く理解することや、参加者同士の交流の輪を広げることを目的としています。



20日 東海地区国立大学体育大会壮行会

第一体育館において、東海地区国立大学体育大会壮行会を実施しました。壮行会では、応援団のステージが行われ、東海地区国立大学体育大会での活躍を祈願しました。三重大学は、男子19競技、女子12競技に参加します。



三重県にピカ1輝く企業を紹介しよう。



- 名称/株式会社 浅井農園
 - 所在地/本社・研究棟 〒514-2221 三重県津市高野尾町4951番地
 - 代表者/代表取締役 浅井 雄一郎
 - 事業内容/農作物生産販売事業、生産管理技術に関する研究開発事業
 - 企業理念/植物の可能性を探索し、新たな価値を創造する
- [URL] <http://www.asainursery.com>

ピカ1 津から世界へ! 三重の農業チャレンジャー

「常に現場を科学する」研究開発型農業カンパニー

浅井農園は、海外の生産技術を導入し、高品質で高い生産性を実現している研究開発型の農作物生産・販売会社です。主に2007年から生産を開始した完熟チェリートマトをはじめとする農作物の生産に力を入れ、研究開発を武器に経験や主観だけに頼らないAIでの生産管理や、世界初のトマト収穫ロボットの実用化に挑戦しています。また、グローバルな農業ビジネスを展開しており、海外研修生の受け入れや雇用を盛んに行っており、2018年6月には三重県内の事業者としては初のグローバルGAP*1の認証を取得しました。

*1: 食品安全、労働環境、環境保全に配慮した「持続的な生産活動」を実践する企業に与えられる国際基準の農業認証



▲生産管理がされた農園内で、トマトの生産が行われています

世界に届け、日本の農業

浅井社長は、多様性がとても大事で、いろいろなタイプの人がいるからこそ会社は成長できるのだと話されました。そして、「会社は真っ白な状態のキャンパスである方が良く、そこにみんなが描いていく」、「これからの農家のモデルになるようなバリューチェーン*2を作っていきたい」とも述べられていました。取材でも1人1人の社員の方が目的をもって研究・開発に取り組んでいるのを聞いて、成長、挑戦できる環境が揃っている会社だと感じました。

社内のオフィスは、おしゃれなカフェのようでした。オフィスの同じ建物内に託児所も今年度設置予定で、子育てをしながら安心して仕事ができる環境になっていました。

*2: 企画生産、製造、販売、アフターフォローまでの一連の流れの中で、付加価値を産み出すこと



▲開放的なオフィスです。同じフロアに託児スペースもあります



▲(左から)三重大学卒業生の奥さん、浅井社長

成長をキーワードに～卒業生のお話から～

三重大学卒業生の奥さんは、トマトの品質を一定に保つための農園内の環境をコントロールする仕組みの開発や、システムの監視・整備などを幅広く手がけられています。また、会社のグローバル展開の第一人者でもあり、日本と海外を繋ぐ三重で輝く女性として、三重県から「みえの輝く女子フォーラム2018」で表彰されています。奥さんにとって働くとは、社会に貢献することであり、働く中で自分自身が成長できるだけでなく、それが他の人の幸せにも繋げることができると話されていました。

同じく三重大学卒業生の浅井社長から学生に向けて、「自分の人生をつかみ取るのは自分であるから、どんな立場であっても小さなチャレンジを積み重ね、主体性をもって行動することが大切」だとお聞きました。

仲間を大切に思い、常にゴールへと全力を注ぐ、熱血な社長だと感じました!

浅井社長と奥さんの話を聞いて、やる気と元気をもらいました!

小さなチャレンジから農業に新たな流れを作っていることにすばさを感じました!

レポーター 北森 輝 医学部看護学科 3年

レポーター 加藤 航矢 工学部機械工学科 4年

全学空手道部

- 活動は ● 日時/毎週月曜日・火曜日・金曜日 18:00~20:30
土曜日 10:00~13:00
(長期休み期間中は4日間とも10:00~13:00まで練習)
- 活動場所/第1体育練習場
(第1体育館グラウンド側、永井記念トレーニングルーム横)



三重大学全学空手道部です。私たちは現在8名で経験者・初心者問わず活動しています。一年を通して多くの試合に出場していますが、昨年は東海地区国立大学体育大会女子団体組手準優勝、女子個人戦準優勝、第3位、男子団体組手第5位、全国国公立大学空手道選手権大会女子団体組手ベスト8進出という結果を残すことができました!その他の試合でも多数入賞を果たしています!毎年夏には師範をお呼びして合宿を行い、練習後には空手道部らしく拳でスイカを割ります。

試合にたくさん出たい!少しでも体を動かしたい!など、どんな方でも大歓迎です!一緒に空手を楽しみましょう!



代表 湯浅 彩優 (生物資源学部 2年)

[HP URL] <https://mie-u-karatido.jimdo.com>

[Twitter URL] https://twitter.com/karate_mie_u

[Instagram URL] https://www.instagram.com/karate_mie_u/



カフェサークルLe Lien

- 活動は ● 日時/毎週木曜日 18:30~20:00
● 活動場所/古民家「みのや」
(三重大学正門から徒歩約5分)



こんにちは、カフェサークルLe Lien(ルリアン)です!私たちはコーヒー、紅茶を楽しみながら人と人の繋がりを広げていくことを目的として活動しています。Le Lienはフランス語で絆を意味しており、学祭でのカフェ出店や出張カフェを通じた学内の交流や、イベントでのドリンク提供など学外との交流も行っています。

他にも普段の活動では、ラテアート、豆の焙煎、ハーブティーの飲み比べなど色々なことにチャレンジしながら、自由に幅広く活動しています!活動場所の「みのや」にはエスプレッソマシンをはじめとした本格的な器具もそろっているため、おいしいコーヒー、紅茶を淹れてみたい人、飲んでみたい人に楽しんでいただけたらと思います!

Twitter / Instagram / HPでも活動内容やイベント情報を更新していますので、是非ご覧ください!活動を通して人と人の繋がりを広げてみませんか?



代表 藤田 美来 (生物資源学部 3年)

[HP URL] <https://leliencafe.jimdo.com/>

[Twitter URL] https://mobile.twitter.com/cafe_le_lien

[Instagram URL] <https://www.instagram.com/cafe.lelien.mieuniv/>



本の紹介



『関係論的アプローチによる体育学習の再検討』

多くの授業実践に基づき、体育学習における学習内容と単元構成原理と具体的な学びのデザインを示し、関係論的な体育学習構築のための理論と方法を解明した新著です。本書は科学研究費補助金を受けて発行されたものです。

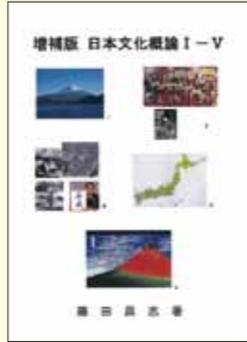
単著／岡野 昇 (教育学部・教授)
定価／7,000円(税抜)
発行／風間書房
頁数／284ページ
ISBN／978-4-7599-2250-9



『藤堂高虎論 一初期藩政史の研究一』

本書は、これまで筆者が発表した藤堂高虎と藤堂藩に関する拙稿をまとめた論集です。高虎を藩づくりの先達と位置づけて、慶長年間から寛永年間に及ぶ半世紀を藩誕生期すなわち初期藩政の時代として注目しました。

単著／藤田 達生 (教育学部・教授)
定価／12,000円(税抜)
発行／塙書房
頁数／420ページ
ISBN／978-4-8273-1296-6



『増補版 日本文化概論I-V』

拙著(2016)『合本 日本文化概論 I-IV』に同(2017)『日本文化概論V-日本の文化・『日本文化論』の研究一』を加えて、「解題」を付けたものです。日本語母語話者、日本語非母語話者両方が理解しやすいように、明晰な日本語にリライトしてあります。

単著／藤田 昌志
(地域人材教育開発機構・准教授)
頁数／283ページ
附属図書館で閲覧・貸出可



『Ninja 英語訳つき忍者入門』

監修／山田 雄司(人文学部・教授)
定価／1,300円(税抜)
発行／主婦の友社
頁数／95ページ
ISBN／978-4-07-435198-5



『大洲城下物語』

監修／藤田 達生(教育学部・教授)
定価／1,500円(税抜)
発行／愛媛県大洲市
頁数／144ページ
ISBN／978-4-89983-257-7



『小学校体育 12ヶ月の学びのデザイン』

編著／岡野 昇(教育学部・教授)
定価／1,600円(税抜)
発行／大修館書店
頁数／98ページ
ISBN／978-4-469-26860-7



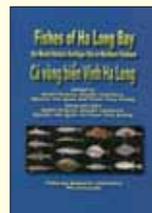
『みえ生物誌 植物』

共著／平山 大輔(教育学部・准教授)
定価／10,000円(税抜)
発行／三重自然誌の会
頁数／749ページ
ISBN／4-89399-037-2



『「前段の司法」とその担い手をめぐる比較法史研究』

共著／田中 亜紀子(人文学部・教授)
定価／5,400円(税抜)
発行／大阪大学出版会
頁数／283ページ
ISBN／978-4-87259-681-6



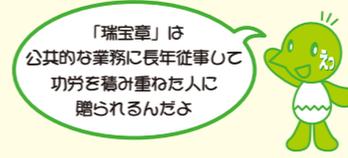
『Fishes of Ha Long Bay the World Natural Heritage Site in Northern Vietnam』

共著／木村 清志(名誉教授)
発行／Fisheries Research Laboratory Mie University
頁数／314ページ
ISBN／978-4-60000039-4
附属図書館で閲覧・貸出可



令和元年 春の叙勲受章者

- 瑞宝中綬章(教育研究功勞)
三重大学名誉教授
菅原 庸



教職員表彰

受賞者	受賞名(受賞日)
生物資源学研究所 増田 裕一 准教授	平成30年度日本ペプチド学会 奨励賞 (2018.12.5)
工学研究科 浅野 聡 准教授	国土交通大臣表彰 手づくり郷土賞(大賞部門) (2019.1.21)
教育学部 大野 恵理 准教授 須曾野 仁志 教授 萩野 真紀 特任教授 榎本 和能 特任教授	国際学会SITE2019(Society for Information Technology and Teacher Education) Outstanding Poster Award Gold (2019.3.21)
教育学部 富田 昌平 教授	一般財団法人 日本保育学会保育学文献賞 (2019.5.4)

三重大学が「みえの働き方改革推進企業」ベストプラクティス賞を受賞

● 2018年12月18日
「社員・地域・顧客」を大切にする企業フォーラムが開催され、三重大学は「みえの働き方改革推進企業」ベストプラクティス賞の表彰を受けました。平成30年度は、44社が「みえの働き方改革推進企業」として登録され、そのうち特に優れた取り組みを推進している4企業が表彰を受け、三重大学は取り組み全般が特に模範となるベストプラクティス賞を受賞しました。



持続可能な社会づくり活動表彰『公益社団法人環境生活文化機構会長賞』と第1回エコプロアワード『奨励賞』がSciLets育成事業においてダブル受賞

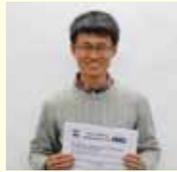
● 2018年11月26日、12月6日
公益社団法人環境生活文化機構が主催する「持続可能な社会づくり活動表彰」において、SciLets事業では初となる『公益社団法人環境生活文化機構会長賞』を受賞しました(写真左)。三重大学の取り組みが、「地元自治体、地域企業と広く連携し、ICT技術を取り入れた意欲的な環境人材育成活動」として評価されました。また、一般社団法人 産業環境管理協会が主催する「第1回エコプロアワード」において『奨励賞』を受賞しました(写真右)。このエコプロアワードは、すぐれた環境への配慮が要素として含まれる「製品、サービス、技術、ソリューション、人物」などを対象にした表彰制度です。今回、三重大学が取り組む、地域で活躍できる環境人材を育成する事業の「科学的・地域環境人材育成授業(SciLets:サイレッツ)」が高く評価され受賞に至りました。



学生表彰

14th IUPAC International Conference on Novel Materials and their Synthesis (NMS-XIV) Excellent Poster 賞 (2018.10.25)

工学研究科(博士前期課程)1年 小口 恭介 (勝又 英之 准教授)



日本応用糖質科学会 中部支部例会 ポスター賞 (2018.12.14)

生物資源学研究科(博士前期課程)2年 幸崎 涼 (三宅 英雄 准教授)



2018年度日本食品科学工学会 中部支部大会 優秀賞 (2018.12.15)

生物資源学研究科(博士前期課程)1年 西岡 慶彦 (柴田 敏行 准教授)



第28回日本MRS年次大会 奨励賞 (2018.12.20)

生物資源学研究科(博士前期課程)1年 松岡 拓磨 (野中 寛 教授)



第14回バイオマス科学会議 ポスター賞 (2019.1.17)

生物資源学研究科(博士前期課程)1年 松岡 拓磨 (野中 寛 教授)



2018年度日本建築学会東海支部 学生優秀学術講演賞 (2019.3月吉日)

工学研究科(博士前期課程)1年 古田 佳歩 (富岡 義人 教授、田端 千夏子 助教)



農業食料工学会関西支部 学生ベストプレゼンテーション賞 (2019.3.4)

生物資源学部4年 吉田 萌子 (王 秀崙 教授)



自動車技術会 2018年度大学院研究奨励賞 (2019.3.5)

工学研究科(博士前期課程)2年 木村 知史 (辻本 公一 教授)



日本生化学会中部支部 支部長賞 (2019.3.25)

生物資源学部4年 吉田 優香 (増田 裕一 准教授)



電気化学会第86回大会 優秀学生講演賞 (2019.3.29)

工学部4年 溝口 貴士 (今西 誠之 教授)



※()内は指導教員 学年は受賞当時



市民開放授業

2019年度三重大学市民開放授業 夏期集中講義

- 開放授業科目○ (教養教育院) 自然科学概論(自然と生命の歴史)、物理学(スポーツ、機械の力学)、現代社会理解実践(アーツで社会探求)
○開催期間○ 2019年夏期集中講義期間 2019年8月20日(火)~8月27日(火)
○募集定員○ 1科目5名~10名(開催日および募集定員は授業科目により異なります。)
○受講料○ 1科目9,400円
○受講資格○ ありません。ただし、受講条件や授業の概要を確認し、お申し込みください。
○受講申込受付期間○ 2019年7月1日(月)~7月8日(月) ※必着
○問合せ○ 学務部教務チーム / ☎059-231-6544 又は、教養教育院チーム / ☎059-231-9357
HP http://www.mie-u.ac.jp/neighborhood/extension.html ※詳細はHPまたはQRコードからご確認ください。



2019年度後期三重大学市民開放授業

- 開放授業科目○ (人文学部) ドイツの言語D、日本考古学特講F、日本考古学特講A、フランス文学演習B、特殊講義 協同組合論、中国語作文B、中国語会話B
(教育学部) 被服構成学、被服実習I、工業力学、原動機工学
(工学部) 西洋・近代建築史、建築基礎構造
(生物資源学部) 農林学総論、国際農業開発学、景観設計論、景観生態学、地球環境学概論、生態圏循環学、農地工学、国際環境保全学(英語)、微生物利用学
(教養教育院) 防災論(自然災害と防災・減災)、異文化理解I演習(ドイツ語A)b、英語II発展E、日本理解特殊講義S(起業マインドの醸成)、異文化理解II演習(中国語)、医学医療D(暮らしと看護)、比較文化論(「日本人論」の批評)、社会学B(社会問題の社会学)
(国際交流センター) 上級総合日本語2B(留学生と学ぶ日本)、初級集中基礎III総合B、中級I作文B
○開催期間○ 2019年後期の講義期間 2019年10月1日(火)~2020年2月3日(月)
○募集定員○ 1科目2名~10名(授業科目により異なります。)
○受講料○ 1科目9,400円(一部の科目11,500円)
○受講資格○ ありません。ただし、受講条件や授業の概要を確認し、お申し込みください。
○受講申込受付期間○ 2019年9月2日(月)~9月6日(金) ※必着
○問合せ○ 学務部教務チーム / ☎059-231-6544 または、各学部学務担当等(募集要項参照)
HP http://www.mie-u.ac.jp/neighborhood/extension.html ※詳細はHPまたはQRコードからご確認ください。



2019年度生物資源学部特別教育プログラム

- 開放授業科目○
●農学関連特別プログラム(後期コース) 植物育種学、園芸植物生理学、食用作物学、昆虫学、植物病理学、フィールドサイエンスセンター農場実習III
●森林関連特別プログラム(後期コース) 森林育成学、森林情報学、樹木生理化学、治水砂防・森林保全学、森林・緑環境計画学、森林生物学実験
●農業土木関連特別プログラム(後期コース) 建設材料学、水環境工学、農地工学、かんがい排水学、基礎土質力学、コンクリート土質材料実験
●水産関連特別プログラム(後期コース) 分子生態学、海事概論、水族発生学、藻類学、浮遊生物学、水産生物学実習
○開催期間○ 2019年後期の講義期間 ○募集定員○ 各プログラム若干名
○受講料○ 入学検定料:9,800円 入学料:28,200円 授業料:1科目9,400円、後期コース56,400円
○受講資格○ 学校教育法第90条第1項の規程により大学に入学することができる者で、教授会が当該プログラムを履修するに十分な学力があると認めたる者。
○受講申込受付期間○ 2019年8月5日(月)~8月19日(月)
○問合せ○ 生物資源学研究科チーム学務担当 / ☎059-231-9631、9633、9735
HP http://www.bio.mie-u.ac.jp/admission/specific_program/ ※詳細はHPまたはQRコードからご確認ください。



公開講座・シンポジウムなど

みえアカデミックセミナー2019 三重の環境と国連持続可能な開発目標(SDGs)

- 講師○ 朴 恵淑(人文学部・教授) ○開催日○ 2019年7月20日(土)13:30~
○会場○ 三重県文化会館1階 レセプションルーム
○受講料○ 無料(要申込)※先着順。満席になり次第締切。 ○受講対象者○ 市民一般
○申込方法○ 三重県生涯学習センター窓口、電話・FAX、郵送、E-mail、またはHPから
○申込・問合せ○ 三重県生涯学習センター / ☎059-233-1151・FAX 059-233-1155
E-mail : manabi-kouza@center-mie.or.jp
HP http://www.center-mie.or.jp/manabi/ ※詳細はHPまたはQRコードからご確認ください。



三重大学地域拠点サテライト連携事業 伊賀サテライト伊賀連携フィールド2019年度前期 市民講座「忍者・忍術学講座:中・近世日本各地の忍者たち」

- 会場○ ハイピア伊賀3階 コミュニティ情報プラザホール
○受講料・定員○ 無料(申込不要)・自由参加 ○受講対象者○ 市民一般
○問合せ○ 三重大学国際忍者研究センター / ☎0595-51-7154
E-mail : ninja@rscn.mie-u.ac.jp
HP http://ninjacenter.rscn.mie-u.ac.jp/ ※詳細はHPまたはQRコードからご確認ください。



津軽と南部一忍者の系譜をたどる
○講師○ 清川 繁人(青森大学薬学部・教授)
○開催日○ 2019年7月20日(土)10:30~12:00

越前福井藩における忍者の実像
○講師○ 長野 栄俊(福井県立図書館・主任(司書))
○開催日○ 2019年8月17日(土)10:30~12:00

藤堂藩伊賀者と新発見木津家文書
○講師○ 高尾 善希(三重大学国際忍者研究センター・准教授)
○開催日○ 2019年9月21日(土)10:30~12:00

第4回三重大学大阪シンポジウム ~ユニークに輝く卓越・先進研究~

- 開催日○ 2019年7月24日(水)13:00~16:45(交流会17:00~18:30/会費制)
○会場○ 大阪大学中之島センター10階 佐治敬三メモリアルホール
○参加費・定員○ 無料(要申込)・自由参加 ○受講対象者○ 一般
○申込方法○ WEB、メール、FAX ○申込期限○ 2019年7月17日(水)
○申込・問合せ○ 社会連携チーム / ☎059-231-9078・FAX 059-231-9047
E-mail : osakasymposium@crc.mie-u.ac.jp
HP http://www.opri.mie-u.ac.jp/ ※詳細はHPまたはQRコードからご確認ください。



?「発見塾」(はてなはっけんじゅく)

- 会場○ ①津リージョンプラザ1階中央保健センター待合ホール、②④⑤津リージョンプラザ1階視聴覚室、③津市芸濃コミュニティセンター大会議室
○受講料・定員○ 無料(申込不要)・自由参加 ○受講対象者○ 市民一般
○問合せ○ 附属図書館総務担当 / ☎059-231-9032
E-mail : lib-kikaku@ab.mie-u.ac.jp
HP http://www.mie-u.ac.jp/hakugaku/hakken/ ※詳細はHPまたはQRコードからご確認ください。



- ①第2回 ハマグリとアサリが語る伊勢湾のうづりかわり
○講師○ 木村 妙子(生物資源学研究科・教授)
○開催日○ 2019年7月27日(土)13:30~15:00
②第3回 音楽の科学
○講師○ 野呂 雄一(教養教育院・教授) ○開催日○ 2019年9月28日(土)13:30~15:00
③第4回 感染症知らずの毎日を過ごすには?
○講師○ 田辺 正樹(三重県医療保健部医療政策総括監)、新居 晶恵(医学部附属病院感染制御部 感染管理副看護師長)
○開催日○ 2019年11月30日(土)13:30~15:00

クラブ・サークル表彰

ヨット部



春季中部学生 ヨット選手権大会 スナイプクラス

優勝

(2019.3.23-24)



計算研究会 チーム“mata nya-n”



ACM-ICPC(国際大学対抗プログラミングコンテスト) インターネット国内予選(大学別順位)

11位

(2018.7.6)

このコンテストは同じ大学で3人1組のチームを作り、チームでプログラミングと問題解決の能力を競う大会です。今回、三重大学で過去最高の11位となり、4年連続国内予選突破となりました。また、12月9日に開催されたACM-ICPCアジア地区予選横浜大会に出場し、結果はアジア地区予選出場60チーム中、27位でした。

- ④第5回 漢方・東洋医学の知恵を、上手に生かした健康ライフ
 - 講師◎ 高村光幸(医学部附属病院漢方外来・助教)
 - 開催日◎ 2020年1月25日(土) 13:30~15:00
- ⑤第6回 法隆寺五重塔とパルテノン神殿はなぜ地震で倒れないか?
 - 講師◎ 花里利一(工学研究科・教授) ○開催日◎ 2020年3月21日(土) 13:30~15:00

●2019年度 日本肝臓学会中部地区 市民公開講座
肝がんにならないために 肝がんになったら 一今からできること・自分でできることー

- 開催日◎ 2019年7月28日(日) 14:00~16:30
- 会場◎ 三重大学医学部総合医学教育棟 第一・三講義室
- 受講料・定員◎ 無料(申込不要)・先着300名
- 受講対象者◎ 市民一般ならびに患者、医療従事者
- 問合せ◎ 三重大学医学部消化器内科学 / ☎059-231-5017(平日10~17時)

- 特別講演「肝臓がんと言われた時の心得」
 - 講師◎ 片山和宏(大阪国際がんセンター副院長・臨床研究管理センター所長)
- 講演1 ○講師◎ 山本憲彦(三重大学医学部附属病院消化器・肝臓内科・講師)
- 講演2 ○講師◎ 杉本龍亮(三重大学医学部附属病院消化器・肝臓内科・助教)

- ⑧光について学んでみよう!
 - 開催日◎ 2019年8月22日(木) 13:30~16:30
 - 定員◎ 4名 ○受講対象者◎ 中学生
- ⑨発電について学んでみよう!
 - 開催日◎ 2019年8月23日(金) 13:00~16:00
 - 定員◎ 5名 ○受講対象者◎ 小学高学年~中学生
- ⑩コンクリートの性状を学びながらモルタル作品を作ろう!
 - 開催日◎ 2019年8月23日(金) 13:00~16:00
 - 定員◎ 4名 ○受講対象者◎ 中学生

●風力発電を題材とした小学生のための環境体験学習

- 講師◎ 前田太佳夫(工学研究科・教授)、鎌田泰成(工学研究科・准教授)
- 開催日◎ 2019年8月9日(金) 9:30~16:00(荒天時は8月11日(日)に延期)
- 会場◎ 三重大学卓越型研究施設
- 受講料・定員◎ 無料(要申込)・先着40名
- 受講対象者◎ 小学生(3年生以上)とその保護者
- 申込方法◎ メール ○申込期限◎ 2019年7月31日
- 申込・問合せ◎ 工学部 前田太佳夫 / E-mail : maeda@mach.mie-u.ac.jp

●第22回リフレッシュ理科教室「3倍楽しめる光の工作」
同時開催：親のための理科教室

- 講師◎ 三重大学大学院工学研究科教員他
- 開催日◎ 2019年8月24日(土) ※全2回同日開催
1回目 10:00~11:30、2回目 13:00~14:30
- 会場◎ 三重大学講堂小ホール
- 受講料・定員◎ 無料(要申込)・120名(1回につき60名)
- 受講対象者◎ 小学3年生~中学生 ○申込方法◎ 往復はがき、Web申込
- 申込期間◎ 2019年7月1日(月)~7月31日(水)
- 申込・問合せ◎ 工学部 藤原裕司 / E-mail : fujiwara@phen.mie-u.ac.jp
HP http://www.ne.phen.mie-u.ac.jp/user/RefreshRika/
※詳細は決定次第HPまたはQRコードからご確認いただけます。

●三重サイエンスカフェ
第27回「社会を幸せにする人口知能(過去と未来)」

- 講師◎ 鶴岡信治(副学長 / 工学研究科・教授)
- 開催日◎ 2019年9月3日(火) 15:00~17:00(開場14:30)
- 会場◎ 津駅前 伊勢門本店【EBIIRO】
- 受講料・定員◎ 500円ドリンク付(要申込)・先着30席限定(定員になり次第締切)
- 受講対象者◎ 市民一般
- 申込方法◎ FAXまたはE-mail ○申込期限◎ 2019年9月2日(月)
- 申込・問合せ◎ 研究推進チーム / ☎059-231-9704・FAX 059-231-9705
E-mail : ken-sokat@ab.mie-u.ac.jp
HP http://www.opri.mie-u.ac.jp/
※詳細は決定次第HPまたはQRコードからご確認いただけます。

- 【開催予定】
 - 第28回 ○講師◎ 水木千春(地域イノベーション推進機構 地域圏防災・減災研究センター・助教)
○開催日◎ 2019年11月26日(火)
 - 第29回 ○講師◎ 尾西康充(理事・副学長)
○開催日◎ 2020年3月3日(火)
- ※日程・講演者は事情により変更する場合がありますのでご了承ください。

●2019年度 肝がん撲滅運動記念講演会 市民公開講座
令和の肝臓病診療 一めざせ肝がん撲滅ー

- 開催日◎ 2019年10月19日(土) 14:00~16:30
- 会場◎ 三重大学医学部総合医学教育棟 第三講義室
- 受講料・定員◎ 無料(申込不要)・先着300名
- 受講対象者◎ 市民一般ならびに患者、医療従事者
- 問合せ◎ 三重大学医学部附属病院 肝炎相談支援センター / ☎059-231-5756(平日10~17時)
「三重大学肝炎相談支援センター」
http://www.medic.mie-u.ac.jp/kanenshien/
※詳細は決定次第HPまたはQRコードからご確認いただけます。

●第17回青少年のための科学の祭典・三重大学大会
同時開催：第13回サイエンスonステージ

- 開催日◎ 2019年11月9日(土) 13:00~17:00、10(日) 10:00~16:00
- 会場◎ 三重大学講堂
- 出展者◎ 三重大学教員・学生、中学校・高校教員、高校生、科学ボランティア
- 受講料・定員◎ 無料(申込不要)・自由参加
- 受講対象者◎ 小学生、保護者、市民一般
- 問合せ◎ 教育学部 後藤太郎 / ☎059-231-9260
HP http://sci.edu.mie-u.ac.jp/



●家族みんなで楽しく体験★わかる!糖尿病! ~みえ糖尿病県民公開講座~

- 講師◎ 糖尿病専門医他
- 開催日◎ 2019年11月10日(日) ○会場◎ 三重県総合文化センター「多目的ホール」他
- 受講料・定員◎ 無料・300名(事前申し込み優先)
- 受講対象者◎ 県民一般(子供向けイベントあります!ぜひご家族でご参加ください。)
- 申込方法◎ WEB、メール、往復ハガキ ○申込期間◎ 決定次第HPに掲載予定
- 申込・問合せ◎ みえ糖尿病県民公開講座事務局
(三重大学医学部附属病院 糖尿病・内分泌内科 内)
E-mail : info@mie-dm.net
「みえ糖尿病サポートなっと」https://www.mie-dm.net
※詳細は決定次第HPまたはQRコードからご確認いただけます。



●教養教育院「公開講座」

- 受講対象者◎ 市民一般 ○受講料◎ 無料(要申込) ○申込方法◎ 電話、FAX、E-mail
- 申込・問合せ◎ 教養教育院チーム / ☎059-231-9827・FAX 059-231-9353
E-mail : kyoyosomu@ab.mie-u.ac.jp
HP http://www.ars.mie-u.ac.jp/
※詳細は決定次第HPまたはQRコードにてご確認いただけます。



■「三重大学教養教育公開講座in四日市」

- 会場◎ ユニテクプラザ(四日市市瑞の森1丁目4-28) ○定員◎ 先着40名
- 開催日時◎ 2019年9月13日(金) ①17:10~18:40 ②18:50~20:20
- ①音を診る 一騒音の計測と評価ー
○講師◎ 野呂雄一(教養教育院・教授)
- ②意味を読む コミュニケーションはどのように成り立つのかー
○講師◎ 井口 靖(教養教育院・教授)

■「教養教育ウィークーRefresh教養!!ー」最大7講座受講可

- 会場◎ 三重大学教養教育校舎 ○定員◎ 先着50名
- 開催日時◎ 2019年11月11日(月) ①10:30~12:00 ②13:00~14:30
2019年11月13日(水) ③10:30~12:00 ④13:00~14:30 ⑤14:40~16:10
2019年11月15日(金) ⑥10:30~12:00 ⑦13:00~14:30
- ①僕たちの幸せのために、景観は必要なんだろうか?そもそも景観でなんだろう?
○講師◎ 大野 研(教養教育院・教授)
- ②世界の大学入試：オセアニアのニュージーランドとサモアを事例に
○講師◎ 奥田久春(教養教育院・特任講師)
- ③カムチャツカはどういう所か? ○講師◎ 福田知子(教養教育院・特任講師)
- ④環境アセスメントって何? ○講師◎ 野呂雄一(教養教育院・教授)
- ⑤日本のエネルギーを考える ○講師◎ 鬼頭孝治(教養教育院・教授)
- ⑥映画「マイ・フェア・レディ」で学ぶ音声学入門
○講師◎ 大熊富季子(教養教育院・特任講師)
- ⑦錯覚の心理学 ○講師◎ 南 学(教養教育院・教授)

●医学部附属病院「市民県民公開講座」

- 講師◎ 附属病院 医師 他
- 開催日◎ 2019年11月26日(火) ○会場◎ 三重県総合文化センター大ホール
- 受講料・定員◎ 無料(要申込)・1000名 ○受講対象者◎ 県民一般
- 申込方法◎ WEB(予定)、メール、ハガキ ○申込期間◎ 未定
- 申込・問合せ◎ 医学・病院管理部総務課秘書広報係
E-mail : s-hisyokoho@mo.medic.mie-u.ac.jp
HP http://www.hosp.mie-u.ac.jp/
※詳細は決定次第HPまたはQRコードからご確認いただけます。



●人文学部「公開講座」

- 講師◎ 三重大学人文学部教員
- 開催日◎ 令和元年9月~12月(開催予定) ○会場◎ 三重大学人文学部
- 受講料・定員◎ 無料(要申込)・未定 ○受講対象者◎ 市民一般
- 申込方法◎ 電話、FAX、E-mail ○申込期間◎ 8月初旬以降
- 申込・問合せ◎ 人文学部チーム総務担当 / ☎059-231-6991、9196(平日9:00~16:00)
FAX 059-231-9198
E-mail : info-hum@ab.mie-u.ac.jp
※詳細は7月中旬以降、人文学部HPに掲載予定です。
三重大学HP→人文学部HP→地域の方へ→公開講座

●生物資源学部 公開講座「驚きの生命機能のチカラとその制御(仮題)」

- 講師◎ 三重大学生物資源学研究科教員
- 開催日◎ 2019年10月26日(土)、27日(日) ○会場◎ 生物資源学部大会議室
- 受講料・定員◎ 無料(要申込)・50名 ○受講対象者◎ 市民一般
- 申込方法◎ メール、郵送・FAX ○申込期限◎ 10月18日(金)
- 申込・問合せ◎ 生物資源学研究科チーム / FAX 059-231-9634
E-mail : bio-somu@ab.mie-u.ac.jp
HP http://www.bio.mie-u.ac.jp/
※詳細は決定次第HPまたはQRコードからご確認いただけます。



夏季休業 8/13・14・15

三重大学における 夏季一斉休業について

三重大学(医学部附属病院を除く)では、夏季一斉休業日を含む8月13日(火)・14日(水)・15日(木)の間、休業とさせていただきます。ご理解の程よろしく申し上げます。

メールマガジンのご案内

三重大学では、地域の皆様への情報発信の一環として、メールマガジンを配信しています(発行:毎月1回)。各種イベント、教育・研究活動上のトピックスなど、「三重大」に関する情報を広く学外へ紹介しています。多くの方々からのご意見・ご提言もいただきながら、地域とともに発展していきたいと考えています。

皆様のご登録を心からお待ちしています。

次事項をご記入の上、下記メールアドレスまでメールをお送りください。

1.メールのタイトルは『メールマガジン希望』と記入してください。

2.メールの本文に、以下の事項を添えてください。

① 配信先メールアドレス ② 氏名

koho.m-maga@ab.mie-u.ac.jp

できる限りパソコンのメールアドレスをご登録ください。携帯電話の場合、受信文字数の関係上、内容を一部省略させていただきます。

配信お申込み方法

三重大大学の各学部の教員が、さまざまな角度から「健康」に役立つ情報をお伝えいたします。第1回目の今回は、近年患者数が増加している糖尿病について、医学部からお届けいたします。



糖尿病



Q1 糖尿病は尿に糖が出る病気でしょうか？

A. 間違いではありませんが、尿に糖がでるといのはあくまで血液の糖が高いから起こることです。血液中の糖濃度(血糖)の値が上昇することにより尿に糖が漏れ出し、尿糖が陽性となります。従って糖尿病は、原則として血糖値の高さにより診断がなされます。また、HbA1c※1の検査により、血糖値の状態を知ることができ、診断にも使用されています。なお、血糖値が正常でも尿に糖が出やすい「腎性糖尿」という場合もあります。この場合は糖尿病ではありませんが、まれに腎臓の病気が存在している事もありますので、他のデータも参考にする必要があります。
※1：ヘモグロビンエーワンシーといい、過去1~2ヶ月間の平均血糖値を反映します。

Q2 糖尿病は増えているのでしょうか？

A. 2016年の厚生労働省の調査によると、糖尿病が強く疑われる人(糖尿病と考えられる)の推計が成人約1,000万人、加えて糖尿病が否定できない人(糖尿病予備軍と考えられる)が、約1,000万人います。特に糖尿病が強く疑われる人は、調査が開始された1997年には約690万人でしたので、年々増加しており、他人事ではない病気なのです。

Q3 糖尿病にはどのような症状があるのでしょうか？

A. 通常、血糖値が非常に高い場合を除いて、症状は認められません。これが糖尿病の発見を遅らせる原因にもなっています。血糖値が非常に高い場合は、尿量が増え、のどが渇くようになり、水分を大量に摂取するようになります。また、糖がエネルギー源としてうまく利用されなくなるため、疲れやすくなり、痩せてくることもあります。合併症である視力障害、むくみや足のしびれ等の症状で糖尿病が見つかる場合もあります。

Q4 糖尿病はすべて同じタイプなのでしょうか？

A. 血糖が上がる点は共通していますが、糖尿病はいくつかの成因により分類されています。今回は、1型糖尿病と2型糖尿病に関して説明します。
①1型糖尿病…子どもや若年者に多くみられ、免疫学的な原因で、膵臓のインスリン分泌が著しく低下することで糖尿病になります。発症までの期間は、急速(数日)に起こるものから、徐々に発症するものまで様々です。原則として、インスリン注射が必要になります。
②2型糖尿病…日本の糖尿病患者の大部分がこの2型糖尿病で、主に中高年以降にみられますが、生活習慣の変化に伴い、若年者の発症も増加しています。インスリン分泌が徐々に低下することと、肥満等でインスリンの効きが悪くなることの両方が要因となります。原因として、体質に加え、過食、運動不足、肥満、ストレス等の生活習慣が関係するため「生活習慣病」の代表とも言われています。従って、生活習慣の是正が最も大切で、それでも血糖値が下がらない場合の治療には、経口薬を主に使用しますが、状態によってはインスリン等の注射が必要となる場合もあります。

糖尿病は、健康診断による早期発見と早期治療が効果的で、合併症の予防にもなります。検診で血糖値やHbA1cが高いと指摘された場合は、症状がないからといって放置せず、速やかに医療機関を受診するようにお願いします。

三重大医学部附属病院 糖尿病・内分泌内科 病院教授 矢野 裕

● 本誌お問い合わせ先 ● 〒514-8507 津市栗真町屋町1577
● 広告掲載のご依頼 ● TEL 059-231-9794 / FAX 059-231-9000
ホームページ <http://www.mie-u.ac.jp/>
E-mail koho@ab.mie-u.ac.jp *ご意見をお寄せください。

三重大 X[えっくす] vol.42

令和元年6月発行
●発行/三重大学広報委員会
●編集/三重大学企画総務部総務チーム広報室
●印刷/有限会社アートピア artopia@zvtv.ne.jp
◎禁無断転載 本誌掲載の文章・記事・写真等の無断転載はお断りします。

編集後記 vol.13

構内の美しい緑が大学のイメージカラーと重なり見えます。大樹の幹に寄り添って見上げる景色には、何とも不思議な美しさがあります。木の生命力も感じられます。木々を愛でる学内散歩の楽しみ方はいかがでしょう。(ささゆり)



3年半ぶりの輝くOB・OG特集です。三重大卒業生の方々がそれぞれの分野で大活躍をされています。ぜひ貴方も三重大で学んでみませんか。きつとやりたいことが見つかると思います。来たら三重大大学へ!(ともぞー)



ひよこ広報室員としてはじめての取材に原稿執筆にと、てんやわんやのえっくす作成でした。これから次号に向けて、精進していきたいと思つています。写真は滝です!夏には避暑がてら滝巡りをしたいと目論んでいます。(love)



先日、大台町の大杉谷へ登山に行きました。岩を登る場所や、足場が崖になっている道など、登山初心者の私にとっては少しハードでしたが、青々とした原生林とエメラルドグリーンの河川に感動しました。夏は避暑地として、登山にたくさん出掛けたいです。(N.R)



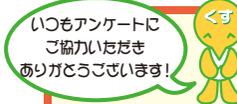
広報室では、学内のおしゃれなスポット大募集という企画を実施しました。集まってきた写真はどれも素敵なものがばかりで、私も普段の何気ない日常や風景の写真を撮ってみようと思うようになりました。(love)



何故か令和第1号のえっくす編集はバタバタでした。初夏にも関わらず暑い日もありますが、皆さまはいかがですか?暑さが苦手な私は金魚のように水に浸かって涼みたいです。泳げないんですけどね。(nico)



2年前から動物園に行くことが趣味になりました。週末にはよく動物たちに癒されに行っています。いつか全国の動物園を巡りたいのですが、制覇にはまだまだ時間がかかりそうです。(SZK)



アンケートに答えて…

三重大学オリジナルグッズをもらおう!!

「三重大X」をよりよくするために、ぜひアンケートにご協力をお願いします。令和元年9月30日(月)(当日消印有効)までにアンケートにお答えいただいた方の中から、抽選で5名に「三重大学ブランド商品詰め合わせ(三重大学カレー2箱、三重大学附属農場ジャム(みかんジャム、マーマレード)各1個、三重大学オリジナルバッグ1個)」を、30名に「オリジナル文具セット(シャーペン1本、ノック式蛍光マーカー(ピンクまたは黄)1本)」をお送りします。どしどしお寄せください。

*当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。41号のアンケート抽選を行いました。
*「三重大学ブランド商品詰め合わせ」、「オリジナル文具セット」をご希望の方は、巻末の綴じ込みはがき、または、はがきのQRコードを読み取り、ご感想等必要事項をご記入の上ご応募ください。



新しい時代、新しい私へ 放送大学 10月入学生募集!

第1回募集
令和元年6月15日(土)~令和元年8月31日(土)
第2回募集
令和元年9月1日(日)~令和元年9月20日(金)

テレビ・インターネットで学べます。
1科目(2単位) 11,000円(教材費を含む)から。
入学試験はありません。(大学院全科生を除く)
キャリアアップ(現職教員・看護師・准看護師の方)や
資格取得、生涯学習など目的に応じた学び方ができます。

インターネットで資料請求・出願ができます! 放送大学 www.ouj.ac.jp 資料請求専用フリーダイヤル 0120-864-600

ニュース情報番組



月~金 17:40 から生放送

三重県の話をもとに幅広く詳しく深掘りして“三重のとれたて情報”を生発信! コメントーターを迎え、スポーツ・健康・防災・観光などの話題や調理専門家による5分調理コーナーも。番組では、情報をご提供いただく特派員クラブを創設。皆様からの情報をお待ちしています! 詳しくは番組HPまで。



毎週月曜日
19:00 ~ 19:55
※土曜日 12:00 ~ 再放送

みえの観光大使チャンカワイがアシスタントの松島史奈(三重県出身)とともにスーパー観光大使を目指して、三重県の観光スポットや関東関西へ旅に出る。旅先での人のふれあいを大切にしながら、あたたかみ溢れる旅番組をお届け。



来て!見て!聞いて! MIE UNIVERSITY 大学生をぜひ体験! OPEN CAMPUS 2019 三重大学オープンキャンパス

学部紹介*
体験授業*
研究室見学*
学生による紹介*
なんでも相談コーナー*
保護者向け企画*

8.9 ^{FRI}

●人文学部
●生物資源学部

8.10 ^{SAT}

●工学部

8.19 ^{MON}

●医学部医学科
●医学部看護学科

8.21 ^{WED}

●教育学部

受験生、保護者の皆様へ
三重県、愛知県などで開催する進学説明会等・相談会においても、本学の様々な情報を提供いたします。
詳細は、本学ホームページ「入試情報」をご覧ください。

生きる力 考える力 「4つの力」で世界に伸びよう 感じる力 コミュニケーション力

学務部入試チーム TEL 059-231-9063

*参加にはお申し込みが必要です。申込方法はホームページをご覧ください。

URL <http://www.mie-u.ac.jp/exam/> **Click!**

三重大学オープンキャンパス2019

検索 🔍



★秋の三二・オープンキャンパス開催!!★ 全学部 10月19日(土) 三重大学

令和2年度一般入試にて (令和元年度実施) インターネット出願導入!

生物資源学部 大阪で受験 個別学力検査 前期日程 令和2年 2月25日(日)

「三重大学振興基金」ご協力のお願い

三重大学振興基金は、皆様からの『ご寄附』を基金としてお預かりし、地域からの期待に応える大学に成長・発展を遂げるために必要な、学生の教育活動に対する支援や教育研究の充実及び教育研究環境の整備等に必要の支援を行っています。皆様の温かいご支援・ご協力をお願いします。

三重大学振興基金の各事業

1.「全学プロジェクト」

1) 三重大学振興基金事業

奨学金(三重大学修学支援事業を除く)、国際交流、地域貢献等をもって教育・学術の振興に資する事を目的として大学全体で幅広く活用する事業

2) 三重大学修学支援事業

経済的理由により修学が困難な学生に対する支援「使途を限定した特定事業」

3) 地域活性化活動支援事業

地域と連携し地域活性化(人材育成、地域教育研究)を目指した教育研究活動の支援

2.「学部・研究科(大学院)等プロジェクト」

3.「冠基金」募集中

本基金に賛同される個人・企業の名前や寄附者の想いの名前をつけることができる基金です。ご厚意が見える形にしたプロジェクト事業を実施します。

税法上の優遇処置があります。

個人の方は所得控除。三重大学修学支援は税額控除と所得税控除のいずれか。法人の方は、総金額を損金として算入できます。

ご寄附の申込

1. クレジット、Pay-easy、コンビニ決済 (三重大学振興基金ホームページをご利用ください。)
2. ゆうちょ銀行・郵便局・銀行からの振込み(本学振込専用用紙をお送りしますので、事務局までご連絡ください。)
3. 遺贈等(事務局までご連絡ください。)
4. 本(古本)、CD、DVDによる寄附

「三重大学振興基金古本募金」



- 交通のご案内
- 江戸橋(三重大学前)駅から徒歩約15分
 - 津駅から
 1. 津駅東口バスのりば「4番」から三重交通バスで「白塚駅」(06系統)、「千里駅」(40系統)、「三重大病院」(51系統)、「棕本(むくもと)」(52系統)、「豊か丘」(52系統)、「サイエンスシティ」(52系統)、「三行(みゆき)」(53系統)、「高田高校前」(56系統)行きで、「三重大学前」下車。(附属病院、医学部、工学部へは「三重大病院前」下車)
 2. タクシーで約10分
 - 中部国際空港(セントレア)から津エアポートライン(船)で津なぎさまちへ40分
 1. 「津なぎさまち」から三交バスで「津駅前」まで約15分
 2. 津なぎさまちからタクシーで三重大まで約15分

国立大学法人
三重大学

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577
TEL059-232-1211(代)
<http://www.mie-u.ac.jp/>



三重大学振興基金事務局【企画総務部総務チーム内】

〒514-8507 津市栗真町屋町1577 TEL:059-231-9005

E-mail: kikin@ab.mie-u.ac.jp HP: <http://www.mie-u.ac.jp/foundation/index.html>